



# 坂東地域アグリ通信

令和5年8月22日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## 「にじのきらめき」現地検討会を開催しました

令和5年8月10日に坂東地域農業改良普及センター主催で「にじのきらめき」現地検討会を開催し、生産者10名及び関係機関18名の合計28名が参加しました。

はじめに、県農業研究所から斑点米カメムシ類の発生状況や防除対策技術について、試験内容や防除適期の説明が行われました。

次に、普及センターから、「にじのきらめき」の多収ポイント、本年度実証試験の内容、乾田直播の作業の流れ等について説明しました。また、実証ほを担当している株式会社クローバー・ファームの高橋氏から、乾田直播を取り入れた経緯や改善点等についてお話をいただきました。生産者は斑点米カメムシ類の防除適期や「にじのきらめき」の多収ポイント、乾田直播の利点などについて、理解を深めることが出来ました。

その後、全農いばらきから今後の米の情勢と「にじのきらめき」の取り扱いの予定について情報提供をいただきました。

普及センターでは、引き続き管内の水稻生産者の高品質安定化に向けた取り組みを支援していきます。



## 坂東地域アグリセミナー「土づくり講座」を開催しました

令和5年7月31日に坂東地域アグリセミナー「土づくり講座」を開催し、県西地域の新規就農者23名が参加しました。

普及センターから ①土壌について、②肥料・堆肥について、③土壌診断についての3つのテーマで講座を行い、土の種類や役割、肥料成分の見方や家畜ふん堆肥の特徴、土壌診断結果の活用方法等を説明しました。

本講座を通じて、より良い土づくりのためには土壌や肥料の特徴をよく知ることや、定期的な土壌診断の実施とその結果をもとにした適切な土壌改良が重要であることを理解してもらうことができました。また、講座後には複数の参加者から堆肥の使い方や施肥設計について質問があり、関心の高さがうかがえました。

普及センターでは、今後もアグリセミナーを通して新規就農者を支援していきます。

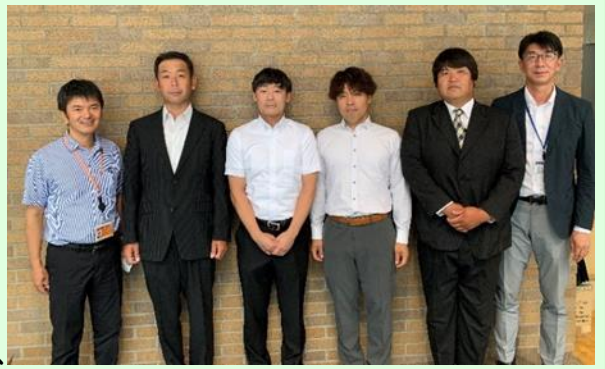


## 新農業経営士、新青年農業士が境町を表敬訪問しました

令和5年度、境町で農業経営士2名、青年農業士3名の方が新たに県より認定を受け、8月1日に4名の方が新任のあいさつで境町を表敬訪問しました。

農業経営士及び青年農業士は、地域農業の活性化を担う地域農業のリーダーや担い手として中核的役割を果たすことを期待される方が認定されています。坂東普及センター管内では、農業経営士21名、青年農業士12名の方が活躍しています。当日は、松本建設農政部長に認定の報告を行ったあと、自身の経営や地域農業について意見交換を行いました。

それぞれの方が地域農業の振興を進めるリーダーとして、今後の活躍が期待されます。



左より 松本建設農政部長、金久保農業経営士、尾崎農業経営士、柿沼青年農業士、稲垣青年農業士、清水普及センター長

## 農作業中の熱中症に気を付けましょう!!

このような症状が出たら・・・

- ・めまい
- ・吐き気
- ・頭痛
- ・手足のしびれ
- ・まっすぐ歩けない

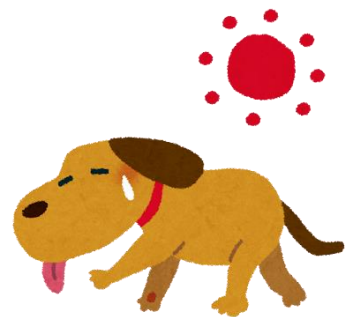


熱中症の可能性 **大**

### 予防と対処法

- ・体調の不調を少しでも感じたら作業を中断して休む  
(農業従事者は作業時に自らが熱中症であることを自覚しないケースが多い)
- ・農作業はできるだけ2人以上で行い、互いに声を掛け合う
- ・緊急用の連絡手段として携帯電話は常に携帯しておく
- ・こまめな水分補給を行う

※水中毒防止のため、一度に大量の水を摂取しないこと、水分と同時に塩分も摂取することが大切



「農業いばらき」は月刊誌からwebサイトに生まれ変わりました!



QRコードを読み取るかURLを直接入力してアクセス!

<https://nouiba.jp/>

## 9月 土壌診断実施日のお知らせ

9月6日(水)、20日(水)の2回の予定です

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みをお願いします。

## 編集後記

まだまだ暑い日が続きそうですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私は最近、自宅の庭のコンポストから生えてきたスイカを食べてみましたが意外と美味しく驚きました。皆様も体調に気を付けてお過ごしください。(バティン)